



歯科医・彌勒寺寛之の 視界良好!

第13回 インプラントのススメ⑦

前回に続き、今回は、歯科医院の選び方、インプラントの種類や治療について紹介します。

私がインプラント治療を選択しているのは、次のような理由からです。

- ・今残っている歯を一生使えるように守りたいから
- ・ブリッジによって土台となる歯が失われるのを防ぎたいから
- ・入れ歯によって顎の骨が溶かされることを防ぎたいから
- ・入れ歯の苦勞から解放してあげたいから
- ・綺麗な歯で見栄えが良くなって欲しいから
- ・一生食べる楽しみを失ってほしくないから
- ・患者様に最も良い治療を提供したいから
- ・患者様がいつまでも若々しく元気でいて欲しいから

私が尊敬する先生の言葉で感動した言葉があります。「インプラントはライフスタイルをリセットしてくれる治療です」

あなたのもっている、不安な気持ちや、後悔の気持ち、そして、今のお口の中の不満…そのすべてをリセットしてくれるとしたら素晴らしいと思いませんか。

私はテレビや新聞などで、「インプラント治療は危険だ」などと見るととても悲しい気持ちになります。なぜなら、それはきちんとした説明を受けていなかったり、先生との信頼関係が築けていない結果だからです。保険治療が中心のいまの日本では、まだまだ誤った情報がたくさん流れています。しかしこれからインプラント治療が中心になることは間違いありません。すでに、アメリカ、スウェーデンといった、歯科分野で先進的な国では、ブリッジや入れ歯は過去の治療であると思われています。

インプラントは決して危険ではありません。

自分の歯が蘇り、見栄えも良く、何でも噛める治療が今のインプラントです。

ここでインプラントの疑問や不安を解消!

ここまでで、インプラントがあなたの歯と骨を守ってくれることがわかりただけだと思います。しかし、インプラント治療を行っている歯科医院はたくさんあります。あなたはたくさんの歯科医院から一つを選び、そして満足のいく最高の治療を受けなければなりません。

何を基準に歯科医院を選べばよいのでしょうか。そしてインプラントの種類もたくさんあり、どんなインプラントが自分にあっているのかもきっとわからないと思います。歯科医院に行って相談しても答えは様々です。そこで今回は、歯科医院の選び方、そしてインプラントの種類やインプラント治療についてよくある疑問をQ&A形式でまとめました。

Q：インプラントとはどういうものですか？

A：インプラントはチタンで出来ています。歯の土台として使用され、人工歯根とも呼ばれています。チタンは治療においてもっとも広く使用されている金属です。体には影響がないとされていますのでご安心ください。

Q：インプラントの手術は痛いのですか？

A：麻酔を行って手術を行うので術中は全く痛くありません。抜歯が出来ればインプラントもできると考えて大丈夫です。術後は多少の痛みを伴う場合がありますが、痛み止めのお薬を飲めば、治まります。

次回もQ&A方式でインプラントの疑問や不安を解消していただきます。



～著者プロフィール～

みろ歯科院長（2012年10月1日新規開院） 彌勒寺 寛之（みろくじ ひろゆき）

住 所 宇都宮市中央2-4-8 T E L 0120-814-364 (URL) <http://tda86.com>

所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会

日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。

当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

（この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。）

